

飛躍

HIYAKU

第 333 号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

高校校外活動(高校1年・3年) スポーツ大会(高校2年)



湘南校舎見学会・キャンパスクイズラリー(高1)



クラス対抗スポーツ大会(高2)



バーベキュー(高3)

2014年度学校運営方針

5月号で掲載した2014年度の学校運営方針重点目標について、今月から3回に分けて詳しく紹介していきます。

2014年度の重点目標 PART.1

1 「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み (生活習慣改善プログラム)を教育施策の基本とする

体力低下・学力低下が社会的な問題として認知され、その改善が必須となった現代社会。なんとなく元気のない子どもたちの多くに、生活習慣の乱れが見られます。東海大学の付属校では、体育学部の小澤治夫教授の研究データに基づき、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、健康で規則正しい生活習慣を実践していく取り組みを2011年度から継続して行っています。研究データからは、規則正しい生活のリズムや栄養をしっかりとることが学力や意欲の向上につながる事が証明されています。学校、家庭が協力して、この取り組みを広げていきたいと考えています。

2 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる

部活動は教科の学習と並ぶ大切な学習の場です。部活動を通じて学べるのは、企画力・実践力・リーダーシップといった社会で必要とされる能力であり、また、他者を思いやる心、協調性や責任感、忍耐力なども部活動によって養われます。中高大の一貫教育体制が整った本校だからこそ、受験にとらわれず、学習と部活動をしっかりと両立できる生徒を育てていきたいと考えています。

3 いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる

来校された多くの方が、本校生徒の元気な挨拶を褒めてくれます。これは本校の良き伝統ですが、伝統は何もしなくても続いていくわけではありません。意識して伝えていかなければ次第に薄れていきます。挨拶は人間関係の基本。豊かな人間関係があってこそ人生も豊かなものになります。そのことを忘れず、これからもこの伝統を守っていきたいと考えています。

ロシア ガスプロム校の校長一行が来校

4月14日(月)、ロシアの私立教育機関であるガスプロム教育センターの校長一行が本校を訪れました。本校ではSSHプログラムの一つとして、継続的にガスプロム校の生徒とインターネットを通じた科学研究交流を行っています。また、昨年11月には8名のガスプロム校生徒研修団が来校して、本校生徒と交流を深めました。

今回来校されたのはエレーナ・ネドベツカヤ校長、オリガ・シュレーニナ副校長、ワレーリー・アパニコフ副校長で、これまでの本校との交流事業の成果や、今後の交流について片桐校長らと話し合いました。また、SSHクラスの授業も視察され、放射線測定器を組み立てる実験に興味深く参観されました。



学年だより 中1

はたらく消防の写生会

中等部1年生は、4月24日に美術の授業で東京都消防庁主催の「はたらく消防の写生会」に参加しました。隣の東海大学高輪キャンパスを会場に、天候に恵まれた青空の下での写生会となりました。はしご車と装備をした消防士さんを目の前に、一生懸命デッサンし、作品は、ボールペンを使い「ペン画」として仕上げました。



どうやって描こうか



消防士さんも大変です

工夫を凝らして

A組 藤原 遼太郎

僕が描いた消防車の絵は、色やミラー、はしごなどを消してしまえばトラックに似ています。それをヒントにして、ベースをトラックに似せて、そこから消防車についているミラーやはしご、スイッチのようなものはっきりと描いて、その他の細かい模様を描いていきました。その後、それらの影となる部分を描いて完成でした。一番描きごたえがあったのは、ミラーの部分と消防車の後部です。ミラーはさまざまな大きさ、形、影があり、それらが少しでも消防車とあっていないと、バランスが乱れてしまい、絵が台無しになってしまいました。だから、その部分は何回も描きなおしました。消防車の後部は、細かい線や影などを描くのが大変でした。細かい線などは少しでも実際に見た角度と違うと、すべての線とのバランスがとれなくなってしまい、それについては慎重に描きました。いろいろと工夫をしなければ描けなかった消防車でしたが、結果的には何とか消防車らしい絵ができてよかったと思います。



消防写生会を通して気づく

B組 橋本 恭祐

僕は絵を描くことが大の苦手です。だから、消防車を描くと言われた時は、下手な絵しか描けないのではないかと気持ちが沈みました。でも、このためだけに消防士さんに来てもらうのだから、少しでもうまく描きたいと思い、絵を描くのが得意な小学校の頃の友達に相談しました。

そして当日、僕は友達のアドバイスどおり、全体像を見て輪郭をはっきり描き、それから細かい部分を付け加えました。ただ、細かく描きすぎるとバランスが崩れてしまうので、注意しながら描きました。すると驚いたことに、みんなからすごいと言われ、とまどいながらも素直にうれしかったです。

この消防写生会を通して、僕には助言してくれたり自信を付けてくれる友達が周りにたくさんいると気づきました。これからも友達をより大切にして、学校生活や行事に取り組んでいきたいです。



学年だより 中2

クラス目標について

中部2年生はLHRの時間を使ってクラス目標を決めました。各クラス大変ユニークな意見が出て、級長を中心に議論をしました。以下の目標に決定したので紹介します。

YDK45

A組 鯨岡 弘平

自分はこの2年A組を、皆で協力できる楽しいクラスにしていきたいと思い、クラス目標をYDK45、Y…優秀、D…大爆笑、K…協力という意味を込めて決めました。

2年A組というクラスは、第一に笑いが絶えないです。この明るい雰囲気がいつまでも続くとよいなと思いました。そして、クラスの目標でもあるYは優秀。これは、勉強だけではなく、いろいろな面で優秀になれるとよいと思います。

Kの協力は、何事も協力し、どんなことも皆で乗り越えていけたらよいと思いました。この3つを合わせたのがYDK45です。

自分は、この目標を完璧に達成することができたら、とても良いクラスになると思います。目標に少しでも近づけるように、皆で頑張りたいです。

一致団結

B組 阿部 翔

自分は、皆の足を引っ張らないように、いつでもこのクラスをまとめられるような級長になりたいです。

2年B組はまだメリハリがなく、授業中も少しうるさくなってしまう。これから先に控えている、体育祭や建学祭、合唱祭などといった、団体で行う行事に少し不安があります。ですが、2年B組は絶対に力があると思います。

今は、クラスがまとまらなくてうるさい時もありますが、その気になれば一つになれると思います。その時に自分がクラスをまとめられるようになりたいです。

そして、2年生が終わる頃には、皆が一致団結できているように、級長として少しずつクラスをまとめられるようにしていきたいです。まずは、体育祭まであと少しなので、頑張っていきたいです。

A組



級長が意見をまとめています



B組



クラス目標を思案中



学年だより 中3

～自立について～

5月2日(金)の公開授業の道徳の時間に自立について考えました。中学生にとって一見簡単なようで難しいものかもしれません。では、それぞれの考えをのぞいてみましょう。ぜひ、ご家庭でもコミュニケーションの中で「自立」という言葉に触れてみてください。

中等部3学年 道徳 より『自分を育てる』 著:南 博

- 1 文章中に《常に「ひとが・・・だから」と言い訳をして、自分をごまかしがちである》とあります。そう思う経験は誰にでもあります。自分を見つめ直し、「ひとが・・・だから」とあなたが思うのはどんなときですか。
- 2 「自分に対する甘え」は、生活のどのような部分に現れるでしょうか。

A組 野田 翔平

- 1 例えば毎日書くスクールライフ。明日の朝、書けばいいやと思ったため、その日やらなかったりすることがあります。みんな朝やっているからいいやとか思ったりします。それは宿題だけでなく自分はよく人に流されやすい人だと改めて考え直そうと思います。
- 2 自分の決めた目標を達成することが少ないです。例えば、今日家に帰ったらあれとあれをやらうと決めていても、家に帰ったら、あれは明日やっても間に合うと思ってしまって、次回に先延ばししてしまうことがよくあります。家にいるときは自分に対する甘えが現れます。

A組 原 千夏

- 1 自分にとって不都合な部分があるとき、例えばやりたくない宿題があつて提出しなければならないのに、「友達がやっていないから自分もやらなくていいや」と思うことや、試験前の勉強を本当はやらなければいけないのに友達がやっていないと聞いて、「友達がやっていないのなら今日一日ぐらいいやなくてもいいや」と思うてしまうことがあります。私は自分がやりたくないことをやらなければいけないときに、自分をごまかすことが多いです。
- 2 家での生活や学校生活で本当はやりたくないのに、やらなければならないことがたくさんあります。そんな時、「あとでいいや」や、「やらなくていいや」などの考えが現れてしまう。自分がやりたいこと、したいことなどは言われなくてもやるし、気持ちよく行動することができるのに、自分がやりたくないこと、したくないことは、自分に害がない場合は特に、自分に対して甘い考えが出てしまって「さぼってしまってもいいかも」という考えになってしまいます。

B組 田中 あや

- 1 お年寄りに席を譲らなければならないときに、私は座っていたくて「隣の人も席を譲っていないから私も」と合理化していました。「あの子だって寝ているから私も」と授業中に寝たくなる時があります。これも自分を合理化していました。
- 2 朝、いつもは頑張つて起きていたのに、ちょっとくらいいいかなと二度寝をしてしまったり、スクールライフを書きたくなくてサボっていたり、授業中に空を見てボーっとしていたり、忘れ物が日に日に多くなっていったり、など。

B組 鳥居 佑光

- 1 宿題とか試験期間の勉強とかで周りの人があんまり勉強していないみたいだから、自分もそんなに勉強しなくてもいいかなと思って、勉強を怠ったりするとき。
- 2 部活動のとき、周りが声を出していないから自分もそんなにいさなくてもいいかなと思ってしまいました。周走できつくて他の人も本気を出していないかもと思って、少し力を抜いてしまったりすることもありました。

A組



公開授業の様子
(道徳)



B組



学年だより 高1

早いもので、入学してから2か月が経過しました。中間試験も無事(?)に終え、学校生活も少しずつではありますが慣れてきたことでしよう。今回は、今一度初心に戻ってもらおうべく、入学当時の感想を述べてもらいました。

チャレンジ

1組 矢吹 美樹

私がここに入学した時に決めた目標は、何事にもチャレンジしていくことです。具体的な目標としては、学習と部活動の両立です。勉強面では特に英語に力を入れていきたいです。この学校には外国人の先生も多いので、積極的に話しかけて、今よりもっと英会話ができるようになりたいです。部活動でも、今までにしたことのないものに挑戦しようと思い、仮入部期間で多くの部活動を見学させてもらいました。最終的にはその中から一つに絞り、3年間続けていきたいです。

私は、付属校であるというこの学校のメリット、そしてこの学校の恵まれた環境を最大限に活用して、楽しい学校生活を送りたいです。常にめりはりをつけて学校生活を送り、初心を忘れることなく、新しいことにチャレンジし続けていきたいです。

私は将来、人を笑顔にする仕事に就きたいです。まだ具体的な考えは何もありませんが、ここで過ごす3年間で、心身共に磨いて、将来に役立てていきたいと思っています。

高校3年間の目標

1組 河原田 右京

私は高校3年間で達成したい目標が2つあります。

一つは、まだ行ったことのない甲子園に出場し、優勝することです。甲子園は、高校球児の誰もが夢見る場所です。そんな甲子園という大舞台に、東海大高輪台高校はまだ一度も行けていません。ですから、私たちの学年が引退する3年生の夏までに、野球部全員で一丸となって甲子園出場、優勝を成し遂げたいです。

また、もう一つは個人的な目標として、スタメン入りを果たすことです。現在野球部には約100人の部員がいます。しかし、その中で試合に出場できるのはたったの9人です。この9人に入ることはとても難しいことですが、選ばれるように日々の練習に励み、自分自身を精神的にも肉体的にも鍛えていきたいです。



日常の風景(朝読書)



日常の風景(茶道入門)



日常の風景(CALL授業)

学年だより 高2

高校生の後輩ができてから2か月が経ちました。部活動や委員会では後輩の良い見本になるように学校生活を過ごしていきましょう。今月は各クラス目標と学年目標を発表します。

学年目標 「415の笑顔 ～元気で明るく楽しく、ガンガン行こうぜ～」

学年委員長 4組 齋藤 楓

2学年はどのクラスも仲が良いのが特徴です。まだクラス替えをして1か月半ですが、5月9日に行われたスポーツ大会などを通して、新しいクラスでの団結力を出すことができていると思います。このような雰囲気から、「415の笑顔～元気で明るく楽しく、ガンガン行こうぜ～」という目標を立てました。学年全体が仲良くなり、どの行事も盛り上げ、そして全員がしっかりとけじめをつけることができるように、全力で尽くしていきたいと思います。1年間よろしくお祈りします。

学年委員会(級長会)メンバー

◎学年委員長 ○学年副委員長

組	級長	副級長	
1	小笠原悠太	相川莉佳子	北村 凱
2	レブランク玲央	遠藤こころ	綱嶋 遥奈
3	○峰村光太郎	生形 知司	遠藤 岳
4	◎齋藤 楓	小林 瑠奈	長岡 正也
5	平尾 早織	○鷹埜 友香	浦川 瑠維
6	宇留島 萌	田中 千寛	土井 佑真
7	馬淵 勝牙	島岡 菜菜	中司 海渡
8	小柳彩友里	鈴木 美咲	野田 修平
9	越川 雄真	中村 美優	松久保浩斗

クラス目標

1組 当たり前前の方が当たり前前ができるクラス
～朝食・挨拶・感謝・礼儀～

2組 一蓮托生 ～笑顔と元気で造るクラス～

3組 毎日笑顔(^_^)一日一笑

4組 二兎追うものは二兎とも取ってくれるかな～?
いいタム～!!

5組 アットホームなあったかいクラス

6組 48の笑顔

7組 ケジメを守って 明るく・楽しく

8組 いつも笑顔
なかよし元気
ばっちこい!
てをとりあいけじめつけ、
つらいことも
のりこえる、
すーぱー
けんこうな
クラス

9組 ガンガンいこうぜ
～ We'll never stay here ～

学年だより 高3

今号では、3学年の学年目標と各クラスの今年度の目標を級長たちから紹介します。

1組 「なんとかなるだろう1組! ～野村淳につづけ!!～」

級長: 野村 淳

昨年度は前級長の大田原くんの名前を取って「大田原につづけ!!」だったので、今年度は名前の部分を新しく級長になった自分に変えました。去年に引き続き「なんとかなるだろう!」の精神で頑張りたいと思います!

3組 「明るく元気で 愛のあるクラス」

級長: 小侯 雅也

3組には大きく分けて2つの顔がある。明るく元気で至って普通の顔。もう1つは何も言わなくても心と心でわかり合える顔。この顔は簡単につくれるものではない。だから3組の愛は他のどのクラスにも負けない。

2組 「43人43色」

級長: 山中 将希

このクラスを迎え2年目になり、お互いのこともわかり仲の良いクラスになりました。一人ひとりが自分の色(性格)を持っています。今年もみんなで今以上に最高の色を出していきたいです。

4組 「笑顔の4くみ、心のLINE」

級長: 山元 嶺

どこかで聞いたフレーズがあると思いますが、お祭りの通りです。意味は「アプリではなく心の中でつながっていて、うれしいこと、楽しいこともシェアしている」のです。

5組 「最高でHappyな5組」

級長: 安本 雄太

高校生活、最後のクラスなので5組らしく、楽しく、最高の年にしたいという思いを込めて、この目標にしました。

学年目標 「つなげ400 笑顔の輪」

学年委員長: 小川 沙麗
山元 嶺
鈴木 結里
仲谷 武帥

私たちもいよいよ3年生となり、最高学年としての自覚を持ちはじめました。生徒それぞれがさらなる飛躍を目指し、日々努力を重ねています。残り1年も笑顔を決意することなく楽しい学校生活を送ればよいと思います。

7組 「Be Excellent ～ラッキー7～」

級長: 鈴木 結里

7組はとても切り替えのできるクラスです。高校生活最後の1年を、楽しいことも大変なこともExcellentな47人で乗り越えていきたいと思っています。

6組 「青春 ましまし」

級長: 安田 雅央

クラスは2年目に入り、男女関係なく話などをしていきます。個性の強い人が多く、お互いの良い所を引き出し合いながら、とても良い関係が築けていると思います。そして、行事などにはとても熱心に取り組む3年6組です。

8組 「うつにもならず(心)、 うつをも凌駕し(技)、 うつを目指す(体)」

級長: 喜多 陽平

なぜこのクラス目標にしたかという担任の名前が宇津なので、それにあやかりうこの目標になりました。宇津先生は柔道をやっているのだから、ちょうどよいと思いました。

9組 「今を大切に」

級長: 淺山 和輝

私たちは、今しかないこの高校生活で悔いを残さないように考え、行動し、大切に過ごしていこうと「今を大切に」というクラス目標に決めました。高校生活も残りわずかですが、最高の思い出を作っていきたいです。

SSH活動報告

1年SSHクラスでは、土曜日の4時間目に「サイエンス基礎」という授業があります。4月19日、26日に「科学プレゼンテーション」が行われました。第1回目は、JST科学コミュニケーションセンターの井上徳之先生にお越しいただき、プレゼンテーションの方法について学びました。第2回目は日本科学未来館で展示物を利用して実際にプレゼンテーションを行いました。この授業では、2・3年SSHクラスの生徒がTA（ティーチングアシスタント）として1年生のプレゼンテーションの指導をし、1年生にとっても2・3年生にとっても貴重な経験となりました。

初めてのSSH活動と実践

1年10組 中村 悠季

2回目のサイエンス基礎の時間、私たちはプレゼンテーションについての授業を受けました。SSHクラスとしての初めての本格的な活動です。講師としてきてくださった井上先生は実践的なプレゼンテーションのやり方を教えてくださいました。重要なことは4つ、ジェスチャー、ポスター、ボイス、アイコンタクトです。この4つを使い、より簡潔に相手に伝えたいことを伝える。これが上達のコツだとおっしゃっていました。

次に、私たちはそれを実践するべく日本科学未来館へと行きました。実際に展示をみて、スタッフの説明を聞き、より専門的なものをプレゼンテーションするという内容でした。実演してみせる人や噛み砕いてわかりやすく説明する人など、同級生ながら参考にできる生徒がいてとても驚きました。また、それとともに対抗心も湧いて、自分もうまくプレゼンテーションがしたいと思いました。

この2回の授業は貴重な体験となり、それとともにこれからの活動の基礎を築くことにもなりました。これから卒業するまで精一杯努力していきたいです。



井上先生からプレゼンの手法を学ぶ



班の人にプレゼンをする

Teaching Assistant

2年9組 新川 琴乃

今までは私たちがさまざまな場面で、先輩にサポートしてもらいました。私も先輩のように、後輩のために何かをしたいと思いTAを希望しました。初めは何をすれば良いかわからず、ただ3年の先輩方の指示を待っていたり、1年生がやっていることを見ているだけでした。いざ自分がやるとなると、とても難しく先輩ってすごいなと思いました。

SSHでの土台となるプレゼンの講義では、初めて学ぶことだらけで、戸惑っている1年生がたくさんいました。私たちは、先輩の見よう見まねでそんな1年生のサポートに入りました。きちんと1年生に指示を出すのが難しく、反省点ばかりあります。日本科学未来館での実習では、学んだことを一生懸命生かそうとしている1年生はとても輝かしかったです。そんな1年生のプレゼンを見て、「あ、こういう仕方があるのか」、「自分はここが不十分だな」など1年生から得られることも多く、サポートするだけがTAではないと感じました。

これからも、TAとしていろいろなことを学びながら、1年生をサポートしていきたいです。

憲法記念講演『子どもの人権救済の現場から』—いじめ・虐待・少年犯罪—



5月8日(木)、憲法記念日にちなみ、恒例行事の「憲法記念講演」を高校1年生を対象に行いました。ホームルーム活動の時間を延長して1・2時間目に、弁護士の坪井節子先生から、いじめ、虐待、少年犯罪に巻き込まれている子どもたちの実情と「カリヨン子どもセンター」の支援活動についてのビデオを見ながらお話をいただきました。坪井先生がこれまで関わってこられた生々しい現場の実例を交えたお話は、改めて「子どもの人権」について考える機会となりました。

講話を聞いて

1年4組 井戸 康太郎

今回の坪井先生の講話を聞いて、いじめ、虐待、少年犯罪がどれだけ被害者に苦しみを与えるのかを改めて知ることができました。以前、中学生のときにもこのような講話を聞いたことがありますが、体験談を直接耳にしたのは初めてで、被害者の気持ちがとても深く伝わってきました。

特に、子どものころからシンナーなどの薬を吸っていた女

性の話を聞くと、坪井先生の苦勞を知ることができました。その女性が今、シンナーを吸っている子どもを助けていると聞いて、聞いているこちらの方がうれしく感じました。いじめで自殺を図った少年の言葉も、自分の心に深く沁みましました。

今回のこの講話を無駄にすることなく、自分はやらないのは当たり前、周りの人がやっていたら注意するという姿勢で生かしていきたいと思います。

TOKAI キャンパスメッセージ

海洋生物の神秘を探る海洋生物学科

東海大学海洋学部海洋生物学科 村山 司

広く深い海にはたくさんの生き物が暮らしています。都会の干潟から大海原のど真ん中、あるいはまだ誰も行ったことのない深海底まで、海ではさまざまな生物が神秘的な生命の営みを繰り広げています。海洋生物学科はそのような海洋生物を「野生生物」としてとらえ、そのありのままの姿を探求しようとする学科です。目に見えない小さなプランクトンからイルカ、クジラ、サメといった大型の海洋動物まで、その生態や生息している環境、そして彼らの持つ能力などについて学び、研究しています。そこには高校時代には知らなかったさまざまな生物が登場し、専門的な講義科目を通して、それぞれの生物が持つ種々の現象や生態に接していきます。ちなみに「海洋実習」ではイルカやクジラを探す実習項目があり、当学科の人気のひとつです。

4年生になると「卒業研究」でさまざまなテーマで研究をすることになります。研究の場所も、大学の実験室だけではなく、目の前に広がる日本一深い駿河湾の船上や全国の水族館など、テーマに応じてさまざまなところが「研究室」となります。

海はまだまだ謎だらけ、わからないことだらけです。そういう神秘に満ちた世界の生物について少しずつ、そして何

より科学的に解明していくのが海洋生物学科です。



海洋実習におけるコビレゴンドウとの遭遇



深海に漂うクラゲも研究対象



巨大なサメ「メガマウス」の解剖

海洋生物学科の魅力

東海大学海洋学部海洋生物学科4年(高輪台高校2011年3月卒業) 金坂 有加里

私は小さい頃からシャチが好きで、シャチについての知識を付けたいと思い海洋学部海洋生物学科に進学しました。入学当初はイルカやサメ等の海洋動物を勉強するだけだと思っていましたが、分類、保全、海洋環境といった幅広い分野について学ぶことができました。特に、3年生の「海洋実習Ⅲ」では望星丸で小笠原へ行きますが、海鳥やクジラの探査、水深1,000mのプランクトンの採集、海洋深層水の調査などを行いました。

ふだんの講義の合間には、友達とおしゃべりしながら食事をしたり、深海ザメの解剖を見学したりと、自由気ままに過ごしています。ダイビングサークルに所属していたので、休日には大瀬崎でダイビングをしてきれいな魚の写真も撮り

ました。夏休み等の長期休暇には水族館で実習をする人が多いのですが、私は鴨川シーワールドで実習をしました。体力のいる仕事ですが、海洋生物の飼育や体調管理の難しさを学ぶことができたと思います。

4年生の卒業研究では、私は「シャチの自己認知」に関する研究を行います。シャチが鏡に写った像を「自分自身」と

認識できるかを調べる予定です。研究室の仲間や水族館の方々とコミュニケーションをとりながら研究するのは楽しいことですが、自分自身が責任感をしっかりと持たなければなりません。自分から進んで行動したことが成功することでも充実感があります。私は責任感を持って卒業研究に取り組んでいこうと思います。



ダイビングにて



研究対象のシャチ

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月19日(木)～24日(火)

- 沖縄コース ○オーストラリア 研修コース・ホームステイコース
- ハワイ 研修コース・ホームステイコース・サイエンスコース

研修旅行は高校生活のメインイベントのひとつです。

良い旅行には良い準備が欠かせません。
実りある学習ができるように願っています。

研修旅行期間中、中等部・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

第6回中等部体育祭

中等部 1・2・3年

6月21日(土)

スポーツ大会

高校1年

6月20日(金)

高校3年

6月23日(月)

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(1回目)
- 2日(月) 朝礼[夏期正制服着用] 45分短縮授業
- 4日(水) 生徒総会(7限目)
- 5日(木) 学年集会(高3)
- 6日(金) 英語検定(中2、中3、高校希望者)
- 7日(土) 漢字検定(希望者)
後援会委員総会
- 11日(水) 専門医によるカウンセリング②
- 12日(木) 学年集会(中2、高2)
- 17日(火) 校医相談日③
- 19日(木) 高校2年研修旅行(オーストラリア・ハワイ・沖縄 ～24日)
4時限授業(特別時間割:中等部、高1、高3 ～25日)
- 20日(金) 高校1年スポーツ大会(本校アリーナ)
中等部、高校3年:授業日
- 21日(土) 第6回中等部体育祭(さいたま総合グラウンド)
高校1年、3年:授業日
- 23日(月) 高校3年スポーツ大会(本校アリーナ)
中等部、高校1年:授業日
- 25日(水) 振替休日(高2)
- 28日(土) 後援会学年懇談会 45分短縮授業

- 1日(火) 朝礼[夏期正制服着用] 45分短縮授業
- 3日(木) 剛健旅行準備(1時限)
- 5日(土) 中等部水泳実習1回目(湘南キャンパス)
湘南キャンパス等学科推薦候補者説明会
(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)
- 6日(日) 高輪キャンパス学科推薦候補者説明会
(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)
高校受験生・保護者学校説明見学会(1回目)
- 9日(水) 金曜日の授業
- 10日(木) 剛健旅行開会式(7時限)
- 11日(金)・12日(土) 第46回剛健旅行(群馬県吾妻郡嬭恋村
東海大学嬭恋高原研修センター周辺)
- 14日(月) 剛健旅行閉会式[1時限目](45分短縮授業)
- 15日(火) 校医相談日
- 19日(土) 1・2限:授業 3・4限:夏期休暇前諸注意・大掃除
- 20日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(2回目)
英語検定二次試験
- 21日(月) 海の日
- 22日(火) SSH科学体験学習旅行(～24日)
- 31日(木) 学園オリンピック文化部門
[国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート](～8/5)

編集後記

今月21日は夏至。広辞苑によると、「夏至とは二十四節気の一つ。太陽の黄経が90度に達する時で、北半球の昼が最も長く、夜が最も短い」とある。この日が過ぎると本格的な夏の始まりである。新学期が始まり2か月が過ぎた。夏至になると今年もほぼ半分が過ぎることになる。子どものころの一年は長く、大人になっての一年は短いと聞いていたが、それを実感する毎日である。時間の感覚とは不思議なもので、何かに打ち込んでいるとあっという間に過ぎていく。果たして皆さんはどのように感じているのでしょうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>